

情報システム・バックアップオフィス研究会（ITB0 研） 2014 年度 第8回 議事録

1. 開催概要

- 開催日 : 2015 年 3 月 10 日（火） 16:30～19:00
- 開催場所 : BCA0 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（座長）
- 議事録作成 : 大塚（座長）
- 出席者数 : 9 名（出席者名は末尾参照）
- 配布資料 : [BCA0 ITB0 研 2014 年活動の整理] （大塚より）

2. 議事内容

（1）はじめに（報告：大塚）

2014 年の ITB0 研究会として計画した最後の月例研究会。今日は、いままで 8 回に渡り行った研究会活動での情報整理と来年度の計画について話し合う。また Octave Japan 社（元 Google 社 執行役員 事業開発提携部門日本代表）の小尾様がいらっしゃっているので自己紹介を含め、Google 社の 3.11 Crisis Response Team の活動について簡単にお話を聞く。さらに 2014 年 9 月第二回月例研究会でイマジネーションテクノロジーズ社 後藤氏よりお聞きした、サイバーセキュリティ関連のコンサルティングおよびサイバーデフェンス教育を提供する民間法人が正式に活動を開始した。後藤氏、伊藤副座長が設立発表会に出席されたので、どんな様子であったかを聞く。

（2）ご連絡事項

- ① 小尾一介氏の自己紹介&メッセージ（資料：Google 社の 3.11 Crisis Response 活動について、配布なし）

デジタルガレージ、グーグル、インモビ ジャパン社を経て現在 Octave Japan(VC) 社。Octave Japan 社は Paypal 創業者のひとりが設立した Incubator 企業の唯一の日本法人、外国からの(ベンチャー)会社の日本展開の投資・支援を行う。

小尾氏は Google 時代に実際の 3.11 を経験した(当時六本木ヒルズの本社にいた)。以下、東日本大震災に対応した Google の活動についての概要をご紹介いただいた。Google 社では NZ クライストチャーチの地震(2011 年 2 月)を契機に Global 組織として Crisis Response Team を立ち上げ各種の支援を行っている。3.11 当時、発災後 2 時間程度でまず Person Finder (Google 避難所名簿共有サービス)を立ち上げた。後に、国内各メディア、公共団体の DB ともリンクし最大級の規模となる。各避難所への散らばった被災者を DB 化するために、避難している方の名簿を写メで送って頂き、手入力した。(さらにおいつかないのでアルバイト 5000 人、ボランティア延べ数十万人を動員)。その後、Animal Finder(ペット探し)を写真入り DB ベースで展開。その他の活動として、公的機関の要請によるミラーサイトの提供(プロバイダーの判断で自主的にミラーサイトを提供し DB を公開する場合、DB 所有者の許諾を得られるかが問題になる可能性がある)や地理情報の提供、被

災地の衛星写真・航空写真の提供を行っている。（特別に Google 社の契約する衛星観測サービスを被災地に向けたり、Google 社の保有する飛行機を被災地に飛ばすなどの対応を実施）Google 社はグローバル体制で開発、サイト運営を行っているため Map へのデータ追加等が迅速に対応できた。また津波で流されてしまった地方自治体の PC の提供、HP の復旧支援活動も行った。被災当時、Google 社の輝かしい活躍の裏話し特に日米官民をめぐる数々のエピソードをお聞きし大変興味深い話しであった。

- ② 2 月 BCA0 運営会議からのお知らせ。東京商工会議所、危機管理対策機構、危機管理教育&演習センター、DRI ジャパンとの共催で 3/11 15:00-18:30D-PAC プロジェクト 想定外への挑戦～富士山噴火を考える～@東京商工会議所が行われる。第一部は細坪氏の進行による講演とワークショップ、第二部は DRII クロエ・デムロフスキ副社長と長瀬 DRI Japan 理事長による講演。3/14 仙台で行われる DRII 講演「Implementing Resilience with Private-Sector Partnerships Through Business Continuity」に合わせて来日する。<http://sendai-forum.info/en/10008/>
- ③ 株式会社イーライトジャパン設立発表会に参加された伊藤副座長より、簡単なご紹介をいただいた。発表会には駐日ウクライナ大使も参加、主賓挨拶をされていた。「ニッポンを守りたい」を標榜し、サイバーリスクマネジメント(cyber RM)を通して、日本市場における「サイバーセキュリティを確立する」ために設立、活動を開始した。E-light により、サイバー空間を明るく照らすという意味。現状における事業活動として「フィールドスキャン（攻撃者と同レベルで実施するスキャン）」を共有することが大切としている。代表取締役は、勝倉裕氏である。元東北大工学部助教授、その後名古屋大でも地震災害の研究に参加された方。親会社はウクライナのイーライト社。ウクライナ大使館の強力なバックアップもあり、ウクライナ本社 HQ メンバーは、政府内閣府 NISC と会合を既に行っている。日本人スタッフは 6-7 名。会社は兜町にある。いずれ機会を見て ITB0 研でお話を伺うことを考えたい。

（３） 決定事項

2015 年度の活動日程について協議の結果、下記のとおり合意した。

月例研究会は原則第二火曜日の 16:30 から 2 時間程度、BCA0 東京オフィスで行うとした。

#	日時（案）	場所
1	4月14日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
2	5月12日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
3	6月 9日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
4	7月14日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
5	9月 8日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
6	10月14日（水）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
7	11月10日（火）16:30-18:30	BCA0 東京オフィス

8	12月 8日（火） 16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
9	1月13日（水） 16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
10	2月 9日（火） 16:30-18:30	BCA0 東京オフィス
11	3月 8日（火） 16:30-18:30	BCA0 東京オフィス

※8月は休会、10月、2016年1月は休日明け1日置くため水曜とした

（４）先月 ML で話題になったテーマ

IIRの新刊が出ました。（IIJ山口氏）

[Vol.26 \(2015 年 2 月 25 日発行\)](#)の主な内容は、

- ・ドメイン名のレジストリ登録情報の改ざん対策
- ・第2回クラウドサービス「IIJ GIO」の紹介
- ・仮想ディスクストレージ「UKAI」

仮想ディスクストレージUKAI（Freeware）について以下の議論あり。

- ・仕組みは、以前ITB0研でプレゼンいただいた「宇宙通信」社の分散仮想ストレージと同等のものか。
- ・ロケーションが離れることにより、通信速度、コストへの考慮が発生する。
- ・UKAIは、どちらかというと、GlusterとかSwift（OpenStack）の分類か？
位置管理というところに独自性を持たせているようだ。

3. 本日のテーマ

「2014 年 ITB0 研 活動のまとめに向けて」（発表：大塚）

今年度の活動で収集した膨大な情報を整理して Issue（課題）を定義し、解決策としての Hypothesis（仮説）を設定する。来年度はそれを検証するための情報収集、分析活動を実施する。

今日はその進め方、考え方を共有した。

重要なポイントである Issue/Hypothesis の設定は次回までの宿題とする。次回まで事前に ML で共有しあう。

言葉として、Fact、Finding、(Issue)、Hypothesis、Conclusion、Recommendation と Action Required の解説はアジェンダおよび配布資料を参照のこと。

これは ITB0 研究会としては、だれにでも理解できる論理展開およびアウトプットとするため。Fact と Finding を分けている理由は、話している内容が必ずしも正確な事実に基づいていないケースが散見されるため。

来年度の活動としては、今話しをしている内容が Fact、Finding、Hypothesis、DataGathering/Synthesis、Conclusion、Recommendation のどれに該当するのかを明確にしながらディスカッションを進める。

ITB0 研としての最終目標は、「企業の IT がサイバーリスクにさらされた場合でも事業継続を担保できる」ためにステークホルダーに対し必要なアクションを取っていただくこと。

ISSUE はなるべくハイレベルな言葉で表現しひとつにしたい。Hypothesis は、いままでの Fact/Finding や過去の経験から、自由に大胆なアイデアを提示して欲しい。複数選

定することも可能。研究会の活動時間に応じて消化できる範囲で決めていく。

(以下、質問・意見)

・2016年1月からスタートする「マイナンバー制度」に関し、サイバーセキュリティ強化したいというのが国の考えではないか。← は Issue なのか、Hypothesis なのか、他なのかを明確にする必要がある。気持ちとしては Finding と捉えたい。

4. 次回 ITBO 研究会の日程

	開催日	時 間	場 所
	4月14日(火)	16:30-18:30	BCAO 東京オフィス

(※) ITBO 研は、日々の ML での情報交換やディスカッションを中心に活動しています。月例会では ML での情報整理と発信者からの追加コメントを頂きディスカッションします。ML でのやりとりの交通整理は座長にて行います。みなさん、積極的に情報を流してください。

5. ITBO 研究会会員 (敬称 略)

No.		氏 名	参加	所属
1	座長	大塚 純一	○	
2	副座長	関山 雄介		大成建設
3	副座長	伊藤 高信	○	FUN Inc.
4		近藤 隆一	○	
5		岡 伸幸	○	ソフトバンク BB
6		吉川 明人	○	NECネクサソリューションズ
7		安齊 隆正		富士通エフサス
8		海田 雅人		東京共同会計事務所
9		西出 三輝	○	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
10	電話参加	野原 英則	○	京セラ
11		宮島 正孝		セイコーエプソン
12		山口 孝一	○	IIJ
13		森口 泰樹		AIG
14		加藤 誠		日立コンサルティング
15		後藤 富雄		イマジネーションテクノロジーズ
16		木村 信弥		株式会社 ディー・オー・エス
17		小尾 一介	○	Octave
18	オブザーバー	伊藤 嘉浩		キングフィッシュコミュニケーション
19	オブザーバー	日下 太一		住友電気工業
20	オブザーバー	斎藤 衛		IIJ
21	オブザーバー	小友 修		富士通エフサス
22	オブザーバー	飯田 清人		江崎グリコ株式会社

現在、伊藤（嘉）様（キングフィッシュコミュニケーション）、日下様（住友電気工業）、斎藤様（IIJ）、小友様（富士通エフサス）、飯田様（江崎グリコ）が ML にて参加されています。（以上）